

「第16回県病医療連携フォーラム」開催

10月11日(土) ウエディングプラザアラスカにて「新しい地域連携～皆で補完しながら地域で暮らすために～」をテーマに、第16回県病医療連携フォーラムを開催し、約60名の医療・介護関係者等の方々にご参加いただきました。

基調講演は、一般社団法人血液製剤機構事業本部事業戦略部 主席 谷澤正明先生から「診療報酬改定が目指す新たな医療提供体制～令和8年度診療報酬改定の動向と地域連携のあり方～」と題し、医療を取り巻く環境の基本認識、ポスト2025年の医療提供体制、診療報酬改定が目指すものなどについてお話しいただきました。シンポジウムでは、「2040年に向けた地域連携」をテーマに基幹病院、かかりつけ医、医療・介護の橋渡しのそれぞれの立場から、当院の松井地域連携推進監、内科おひさまクリニック院長の富山月子先生、看護小規模多機能型居宅介護事業所ひまわりの高橋千津子氏から現状や課題等を発表していただきました。その後、谷澤先生、大山病院事業管理者も加えて、ディスカッションを行い、貴重なご意見、ご提言をいただきました。

大多数の参加者が「とても参考になった」と、大きな関心を持たれたようです。

この場をお借りして、ご参加いただきました皆さん、御講演いただいた先生方に心より感謝申し上げます。



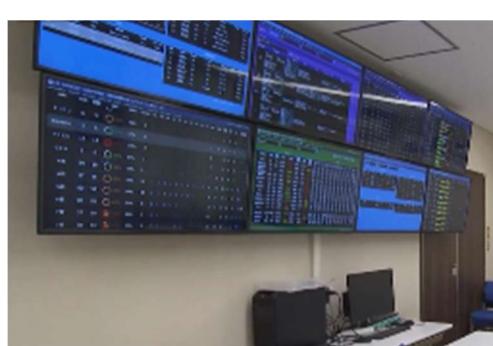
ATV「いきいきすこやか」出演

10月5日(日)16:00～16:30放送回「遠隔医療+医療DXが切り拓く青森医療新時代」というテーマで出演しました。

当院の医療DXの取り組みである「当院の画像や検査結果等の受診状況を患者自身がスマホで管理できるNOBORIアプリ」「病床稼働率や患者重症度、看護師業務等のデータを集約し、必要な情報をリアルタイムで可視化できるコマンドセンター」



「医療従事者間や現場の救急隊員と写真や患者の医用画像をチャットでやり取りできるJoinアプリ」について取り上げられました。



過去のふれあいは
こちらからご覧いただけます。

イベント・研修会のお知らせ

当院では様々な教室・イベント・講座を開催しております。ぜひ、ご参加ください。
開催後の内容については、当院ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

イベント名 ▶ メディコトリム

概要 ▶ 生活習慣の改善を目的とした医師、看護師、管理栄養士、健康運動指導士、事務などの医療スタッフによる健康教室です。高校生以上で、自立した生活ができ、医師から運動制限されていない方が対象です。

場所 ▶ 青森県立中央病院

日時 ▶ 1月開催：①13日（火）②27日（火） 18:00～20:00
3月開催：①3日（火）②17日（火） 18:00～20:00

申込期限 ▶ 1月開催：1月9日（金）、3月開催：3月2日（月）

問い合わせ先：経営企画室企画課（017-726-8402）



イベント名 ▶ がん患者さんのための運動教室

概要 ▶ がん患者さんの体力維持・増強のための運動教室です。患者さんのご家族や当院に通院していない方でも参加できます。主治医から運動制限を受けていない方が対象です。

場所 ▶ 青森県立中央病院 研修室

日時 ▶ 12月22日（月）、1月24日（土）、2月25日（水） 13:00～14:00

問い合わせ先：がん相談支援センター（017-726-8435）

イベント名 ▶ がんサロン ひだまり

概要 ▶ がん患者さんが自由に語り合い、体験を共有できる場です。入院中の方でも、当院に通院していない方でも参加できます。

場所 ▶ 青森県立中央病院 研修室

日時 ▶ 12月22日（月）、1月24日（土）、2月25日（水） 14:15～15:45

問い合わせ先：がん相談支援センター（017-726-8435）

イベント名 ▶ スキルアップ研修会

概要 ▶ 地域の医療従事者との交流と自己研鑽を目的に医師・薬剤師・看護師などを対象に研修会を開催しています。
テーマ：「高血圧のイナーシャをなくそう」

講師：青森県健康医療福祉部がん・生活習慣病対策課課長 池田安克

場所 ▶ 青森県立中央病院 研修室

日時 ▶ 2026年1月20日（火） 18:30～20:00

問い合わせ先：医療連携部庶務グループ（017-726-8432）

イベント名 ▶ 介護従事者に知ってほしい医療を学ぶ研修会

概要 ▶ 医療と介護の連携を深めることを目的に地域の介護従事者を対象とした研修会を開催しています。
テーマ：「下剤の使い方とおむつの使い方」

講師：青森県立中央病院 皮膚排泄ケア認定看護師 成田桃子/薬剤師 加藤香穂

場所 ▶ 青森県立中央病院 研修室

日時 ▶ 2026年2月21日（土） 14:00～15:30（集合研修のみ）

問い合わせ先：医療連携部庶務グループ（017-726-8432）



院内での取組みを紹介します！！

〈 命を守る、病院の災害訓練 〉

～令和7年度 青森県立中央病院災害医療総合訓練～

災害対策委員会（委員長：院長 廣田和美）では、令和7年9月6日（土）に青森県立中央病院災害医療総合訓練を行いました。

大規模地震の発生を想定したグループウェアシステム「災害モード」運用可能下での災害対策本部及び各新設部署等との連携等について検証し、基礎的な対処能力の向上を図るとともに、政府が実施する令和7年度大規模地震時医療活動訓練における受援について確認しました。

訓練には、院長以下、医師、看護師、医療技術員、事業者の職員、模擬患者役で参加したボランティアの学生さんなど約170名が参加しました。



問い合わせ先：017-726-8299（救命医局）

〈 リレー・フォー・ライフ・ジャパン青森への参加 〉

がん患者の支援チャリティイベント「リレー・フォー・ライフ・ジャパン青森」が2025年9月6日～7日青森市の青森県立保健大学で開催されました。

「リレー・フォー・ライフ（命のリレー）」は、がん患者や家族、その支援者が24時間会場を交代で歩き、がん征圧への願いを新たにし、絆を深め合う寄付イベントです。青森市では2014年から今年が10回目となりました。今回は、当院と青森市民病院のがん相談支援センターがコラボしてがんに関するブース展示を行い、がんに関する情報提供や乳がん検診モデルでしこり発見の体験等を行いました。



※県病と市民病院のがん相談員

問い合わせ先：017-726-8435（がん相談支援センター）

〈 看護業務効率化に取り組んでいます 〉

看護部では、上記について青森県看護協会で発表しました。

一つ目は、新しく採用された看護補助者への採用時の研修見直しです。



病院での勤務経験がなくても安心して仕事に慣れてもらえるように演習を取り入れています。

二つ目は、医療DXシステムを活用した適切な病床管理（コマンドセンター）です。入院患者数などをリアルタイムに把握し、緊急入院に素早く対応できるようになりました。看護部では、これからも患者サービスの向上のため、様々な取り組みを進めていきます。



マスク着用に関するお知らせ

10月1日（水）より、院内でのマスク着用は「個人の判断」となります。

感染症の流行時期や疾患・治療で免疫抑制状態にある方はマスク着用をお願いするケースがございます。

また、発熱・咳・くしゃみ・鼻水などの症状がある方はマスク着用が必須です。

ご協力お願いいたします。



NOBORI アプリの紹介

当院の受診状況(血液検査結果や CT 等の画像や処方・注射等のお薬)がスマホで管理できるアプリを導入しています！

通院便利機能として、再来受付や医療費後払い、処方せん送信ができます。

ぜひ、ご利用ください。

※利用するには NOBORI アプリ受付窓口での登録手続きが必要です。



アプリのインストールはこちら

青森県立中央病院

〒030-8553 青森市東造道2丁目1-1

診療日=平日 8:15~11:30(※一部対象外あり)

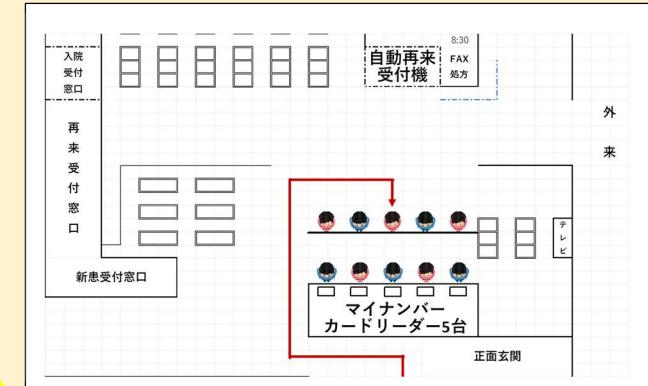
休診日=土・日曜日、祝日、年末年始(12/29~1/3)

広報誌に関する問い合わせ:017-726-8402(経営企画室企画課)



再来受付に関するお知らせ

マイナ保険証利用者数の増加に伴い、再来窓口での待ち時間増加などご不便をおかけしております。この度、マイナ保険証を利用される方向けにマイナ機器を増設することといたしました。受付方法の詳細については院内掲示等をご確認ください。



外来診療関係のお知らせ

糖尿病・内分泌内科

10月1日(水)より、内分泌内科が糖尿病・内分泌内科へ名称変更しました。

腎臓内科

10月1日(水)より、腎臓内科が新設されました。診察曜日は火～金となります。



診療申込書はこちら



外来診療担当医一覧はこちら